

沖縄県てんかん支援拠点病院

沖縄赤十字病院

廣中浩平¹、饒波正博^{1,2}、太組一郎³

沖縄赤十字病院 脳神経外科¹、平安病院 精神科²

聖マリアンナ医科大学 脳神経外科³



日本赤十字社

沖縄赤十字病院

2026年7月12日

沖縄赤十字病院のてんかん診療の歩み

2008年	饒波正博(当院脳神経外科前部長)が、太組一郎(当時:日本医科大学武蔵小杉病院脳神経外科講師)を招き、成人てんかん専門外来開設
2010年	てんかん外科手術 1例目 (VNS)
2011年	長時間ビデオ脳波モニタリング開始
2012年	てんかん外科手術 2例目 (脳梁離断)
2013年	てんかん外科手術 4例目 (選択的扁桃体海馬切除術)
2018年	沖縄県てんかん支援拠点病院に認定(全国9番目)

現在、日本てんかん学会専門医4名体制

常勤2名 (脳神経外科・廣中、小児科・比屋根真彦)

非常勤2名(太組、饒波)

[検索](#)[検索について](#)[組織で探す](#)[文字サイズ・色合い変更](#)[ホーム](#)[暮らし・環境](#)[健康・医療・福祉](#)[教育・文化・交流](#)[産業・仕事](#)[社会基盤](#)[県政情報](#)[基地](#)

更新日：2018年4月3日

平成30年度沖縄県てんかん診療拠点機関の指定について

平成30年度沖縄県てんかん診療拠点機関の指定について

沖縄県は、国の「てんかん地域診療連携体制整備事業実施要綱」に基づき、平成30年4月1日より沖縄赤十字病院を「てんかん診療拠点機関」として指定しましたので、お知らせいたします。

また、沖縄県において、てんかん診療における地域連携体制を整備することを目的として、平成30年度より「てんかん地域診療連携体制整備事業」を実施いたします。

沖縄県庁ホームページ

てんかん治療拠点指定

沖縄赤十字病院

県からてんかん診療の中心的役割を担う「てんかん拠点病院」に認定された那覇市の沖縄赤十字病院(大嶺靖院長)が27日、同院で会見を開いた。脳神経外科の饒波正博部長は疾患への理解と周知が課題だとし「経験豊富な医師らと連携し、県内のてんかん治療の向上を目指したい」と語った。指定は1日付。

赤十字病院は県内でてんかん

沖縄赤十字病院神経内科の嘉手川淳部長(右端)、大嶺靖院長(左端)ら＝27日、那覇市与儀の沖縄赤十字病院



手術や専門的な診療を提供する唯一の医療機関。2009年から聖マリアンナ医科大准教授でてんかんセンター副センター長の太組一朗医師の協力の下に外来診療を続けるほか、患者の発作状

況を長時間観察できる脳波ビデオと検査室を設けるなど、先駆的に取り組んできた。

拠点病院として①正確なてんかんの診断②年間10件以上のてんかん手術③関係機関との連携④患者の就労・生活支援一を目標に掲げ対応を強化していく。

太組医師はてんかん疾患の見極めが難しいが、適正な診療と手術で完治できると指摘。「専門の医師や機関と連携強化することで、提供できる診療は飛躍的に向上する」と期待を寄せた。

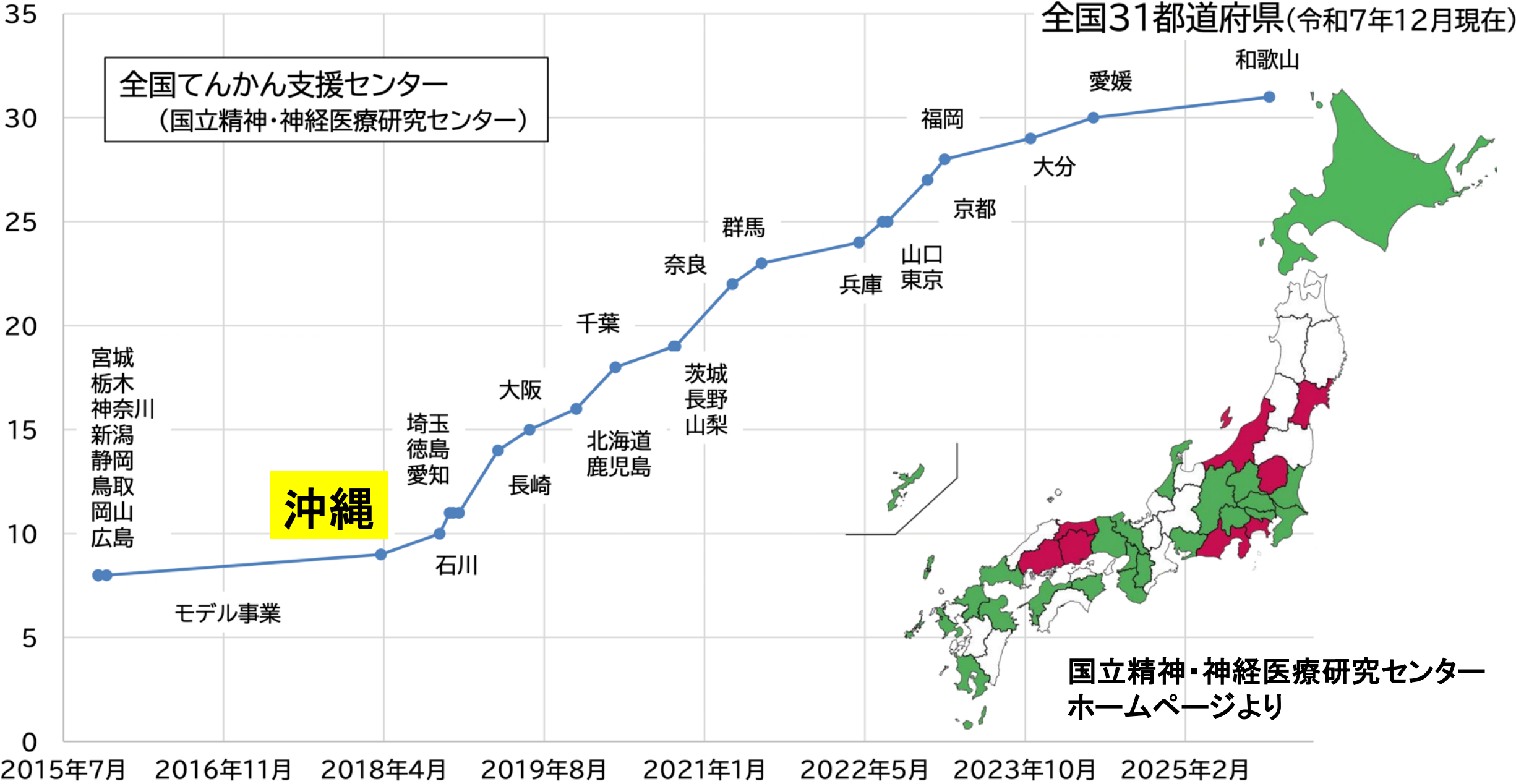
拠点病院として

- 1) 正確なてんかんの診断
- 2) 年間10件以上のてんかん手術
- 3) 関係機関との連携
- 4) 患者の就労・生活支援

を目標に掲げ対応を強化していく

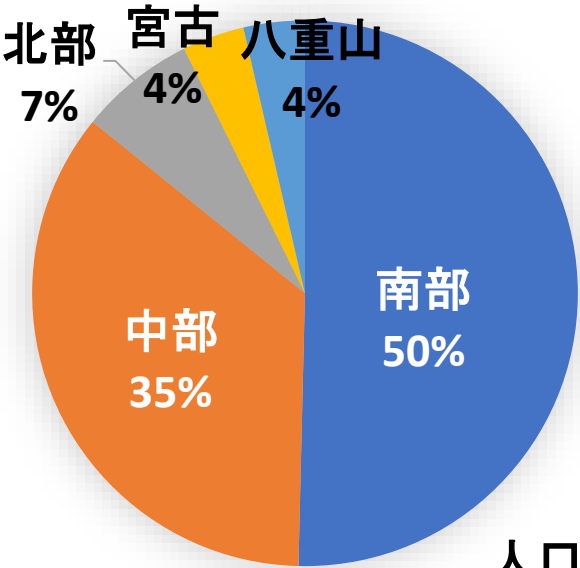
琉球新報 2018年4月28日

てんかん全国支援センターおよびてんかん支援拠点病院

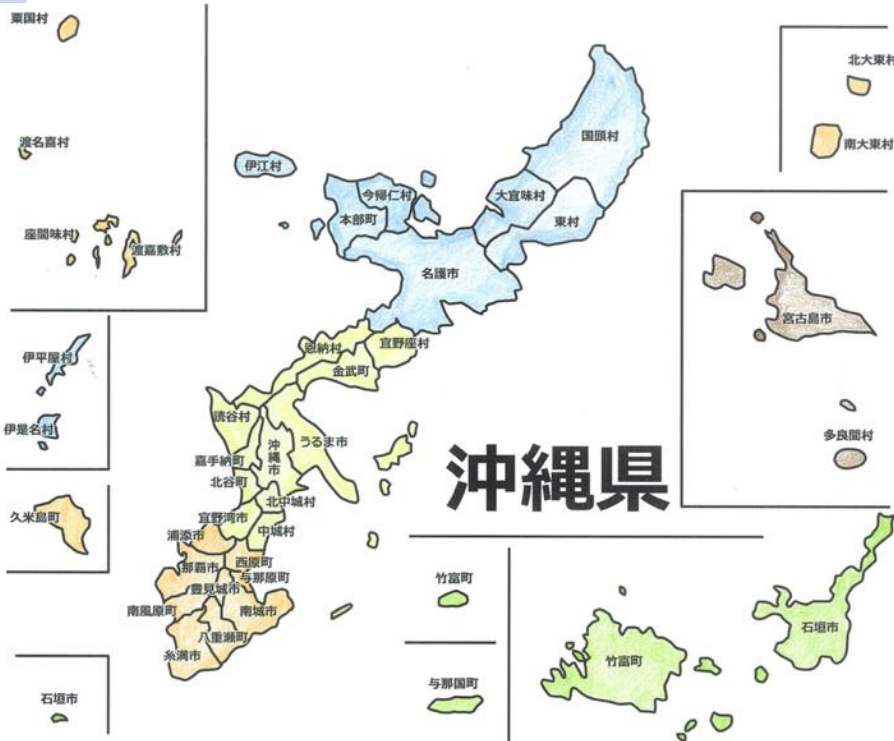


沖縄県の二次医療圏

二次医療圏	市町村名	人口 (2025年11月)
南部 (5市5町6村)	那覇市、浦添市、糸満市、豊見城市、南城市、西原町、与那原町、南風原町、渡嘉敷村、座間味村、粟国村、渡名喜村、南大東村、北大東村、久米島町、八重瀬町	737,255人
中部 (3市3町5村)	宜野湾市、沖縄市、うるま市、恩納村、宜野座村、金武町、読谷村、嘉手納町、北谷町、北中城村、中城村	522,214人
北部 (1市1町7村)	名護市、国頭村、大宜味村、東村、今帰仁村、本部町、伊江村、伊平屋村、伊是名村	100,967人
宮古 (1市1村)	宮古島市、多良間村	53,981人
八重山 (1市2町)	石垣市、竹富町、与那国町	52,977人



人口分布



てんかん県民講話

第1回 (2018年8月26日) 石垣市 (八重山医療圏)

第2回 (2019年2月17日) 名護市 (北部医療圏)

第3回 (2019年9月1日) 宮古島市 (宮古医療圏)

第4回 (2020年2月16日) 北中城村 (中部医療圏)



てんかん拠点病院事業
第1回 てんかん県民講話
～てんかんってどんな病気？～

講話1：てんかんの治療～発作がとまらないうちにどんな治療があるの？～
演者：大塚 一朗
聖マリアンナ医科大学脳神経外科 准教授
聖マリアンナ医科大学神奈川てんかんセンター 副センター長

講話2：てんかん拠点病院について
演者：藤原 正博
沖縄赤十字病院脳神経外科部長
沖縄てんかん拠点病院責任者

聴覚ブースにてんかんの悩みやす相談にのります
担当：てんかん協会（波の会）

日時：8月26日（日曜日）13時から15時まで
場所：石垣市健康福祉センター
〒907-0004 沖縄県石垣市登野城1357-1
駐車場には限りがあります。お車は乗り合わせをお願いします。

主催：沖縄赤十字病院
共催：八重山地区医師会
協賛：石垣市

連絡先
沖縄赤十字病院脳神経外科
098-853-3134



平成30年8月26日に第1回てんかん県民講話開催 @石垣市

沖縄てんかん拠点病院プレゼンツ
～知ろう!てんかんのこと～



番組内容

誰もが一度は耳にしたことがある「てんかん」について学んでいく番組です。
日本では「てんかん」の方の割合が100人に1人とされておりま
皆様に「てんかん」の理解を深めて、正しい知識を身につけていきましょう。

出演者



沖縄てんかん拠点病院「沖縄赤十字病院」第一脳神経外科部長
饒波 正博先生 MC：菊地志乃

放送時間

2021年4月6日開始

毎週火曜

午前9時55分～10時



ドクトル・ノウ この処方はいかが？

14件のツイート



フォロー

ドクトル・ノウ この処方はいかが？

@doctornou950

シルバーウッド石垣オフィスプレゼンツ

ドクトル・ノウのこの処方はいかが？

沖縄てんかん拠点病院、沖縄赤十字病院脳神経外科医 饒波正博先生が病気や障害等、困難を抱えながら頑張っている方々を応援する番組。

MC 菊地志乃

#ドクトル脳

アカウントのフォロー宜しく！

📍 沖縄県那覇市 📅 2022年3月からTwitterを利用しています

参加無料

令和7年度 てんかん県民講和

日時：令和7年7月21日（月）

場所：石垣市健康福祉センター 2階視聴覚室

時間：10:00～12:00 個別相談会

（先着順・人数制限あり/お薬手帳 持参）

13:00～15:00 一般講演



講演内容

1. 私のてんかん闘病記
沖縄赤十字病院 てんかんコーディネーター 照屋江里
2. てんかんに対する公的支援
てんかんコーディネーター 医師 饒波正博
3. 石垣島を離れなくても参加できる難治てんかん臨床研究
聖マリアンナ医科大学病院 脳神経外科教授 太組一朗

（各20分）

主催：沖縄県てんかん拠点病院（沖縄赤十字病院）

共催：厚生労働科学特別事業

「カンナビノイド医薬品とカンナビノイド製品の薬事監視」（24CA2012）





沖縄てんかん拠点病院
令和7年度 第2回てんかん講話

【日時】令和8年2月23日(月・祝)
【場所】名護中央公民館 小ホール

参加費 無料

第3研修室



令和7年度 第2回 てんかん県民講話

日時：令和8年2月23日(月) 13:00~15:00

場所：名護市中央公民館小ホール

13:00~13:30 講演：てんかんの新しい治療
太組 一郎 (聖マリアンナ医科大学脳神経外科教授)

13:30~14:00 講演：てんかんに対する公的支援
饒波 正博 (医師/てんかんコーディネーター)

14:00~15:00 てんかんよろず相談

主催：沖縄てんかん拠点病院
共催：厚生労働科学特別研究班 24CA2012
日本てんかん協会沖縄支部

参加費 無料



沖縄赤十字病院 講演会開催のお知らせ



日時：令和7年1月29日（水）

18：00開始 17：30受付開始

場所：沖縄赤十字病院 3階会議室

演題：『てんかんの診断と治療』

座長：沖縄赤十字病院 医療社会事業部長
健康管理センター 田中 道子 医師

演者：沖縄赤十字病院 脳神経外科部長
廣中 浩平 医師



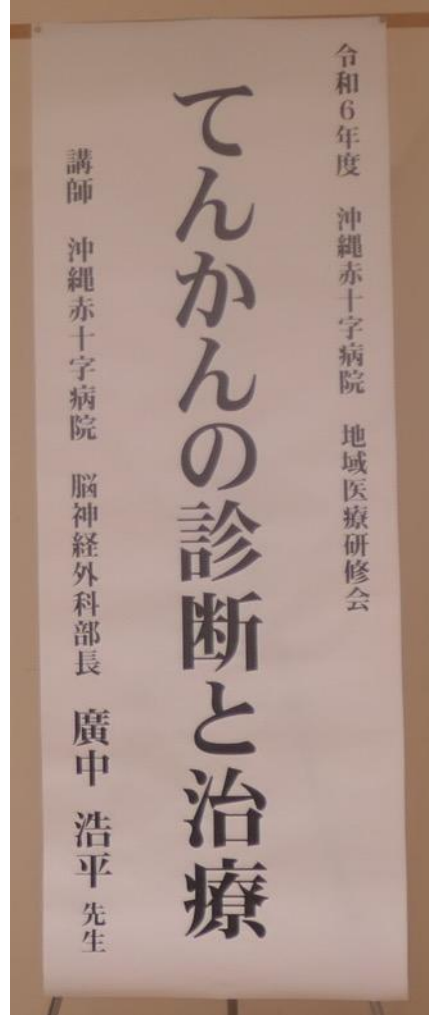
【QRコード】



申込期限：1月27日（月）
申込方法：左記QRコードまたは
別紙FAX申込書をお送り下さい。

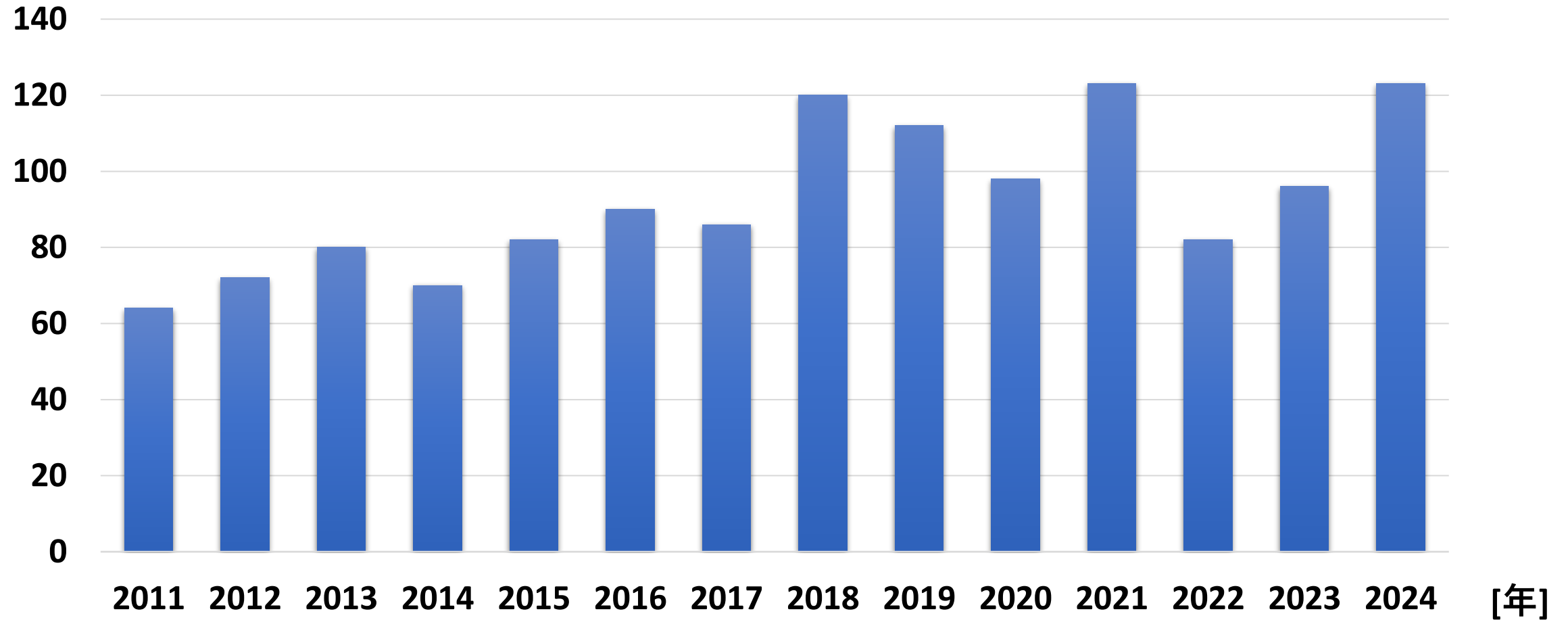
お問い合わせ

地域医療研修委員会 事務局（内線1127） 担当：中村

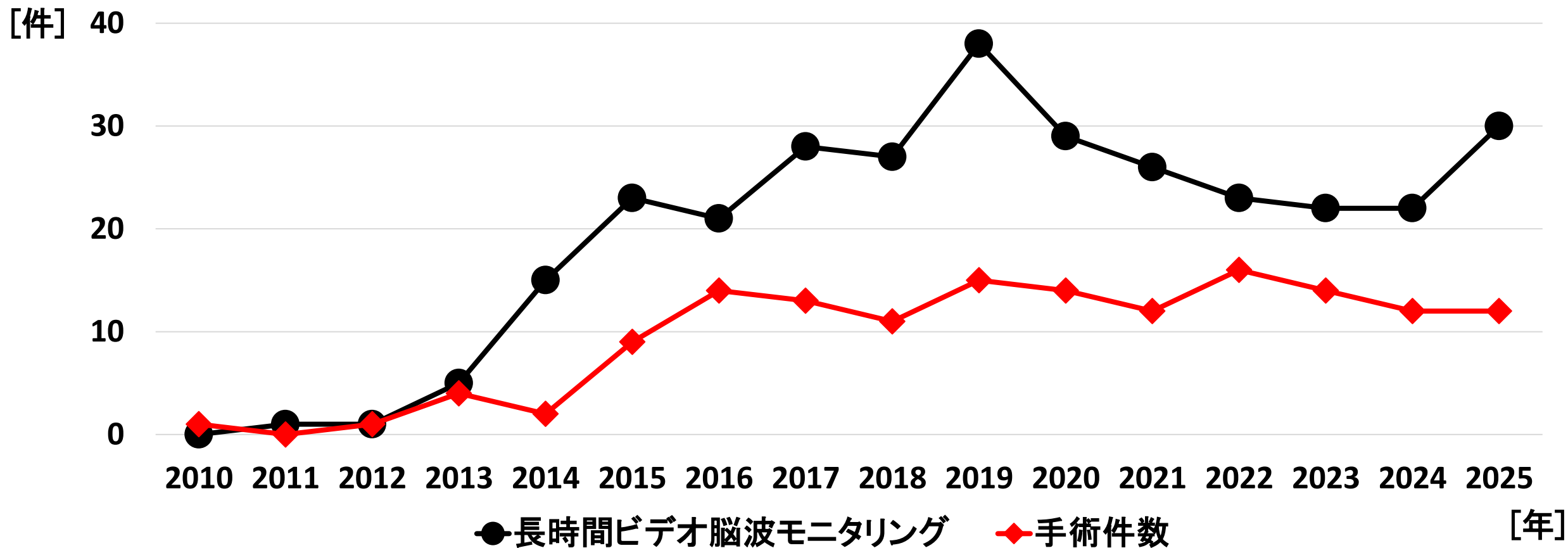


脳神経外科てんかん外来の新規紹介件数

[人]



長時間ビデオ脳波モニタリングおよびてんかん手術件数

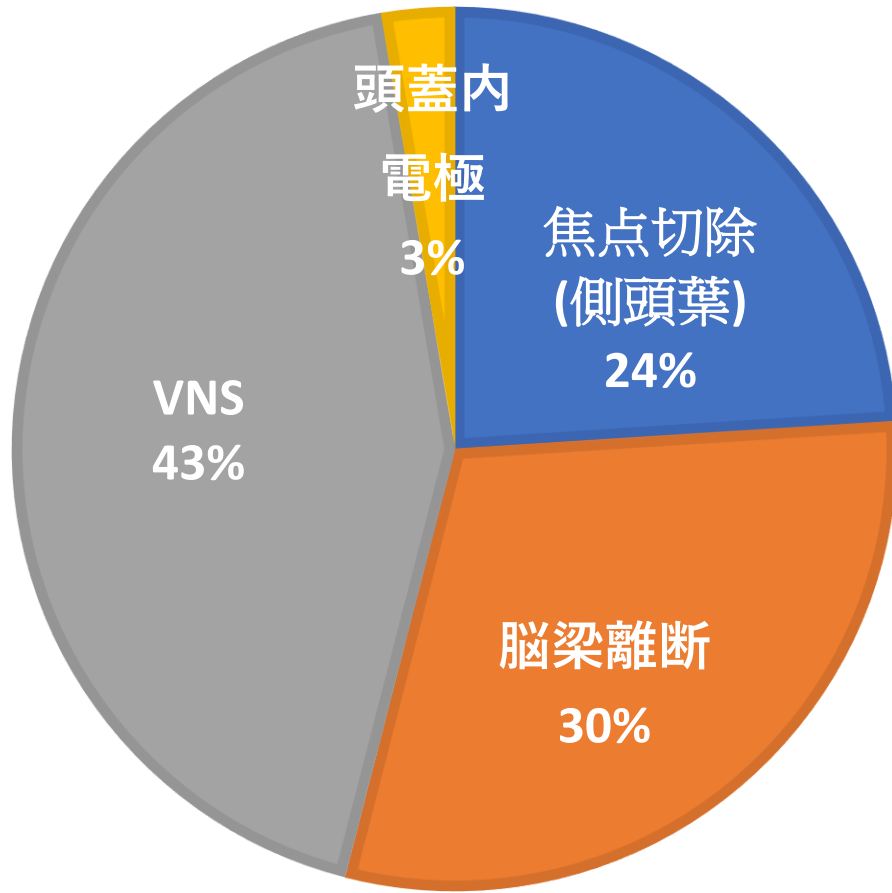


▪ ビデオ脳波モニタリング 311件

▪ てんかん外科手術 150件

(2025年末まで)

てんかん外科手術の内訳



✓ 側頭葉てんかんに対する焦点切除: 36件

選択的扁桃体海馬切除: 32件

前側頭葉切除: 3件

海馬多切: 1件

✓ 脳梁離断: 45件

前半部: 26件

後半部: 16件

一期的全離断: 3件

✓ VNS手術: 65件

植込術: 36件

交換術: 29件

✓ 頭蓋内電極: 4件

当院の長時間ビデオ脳波モニタリング

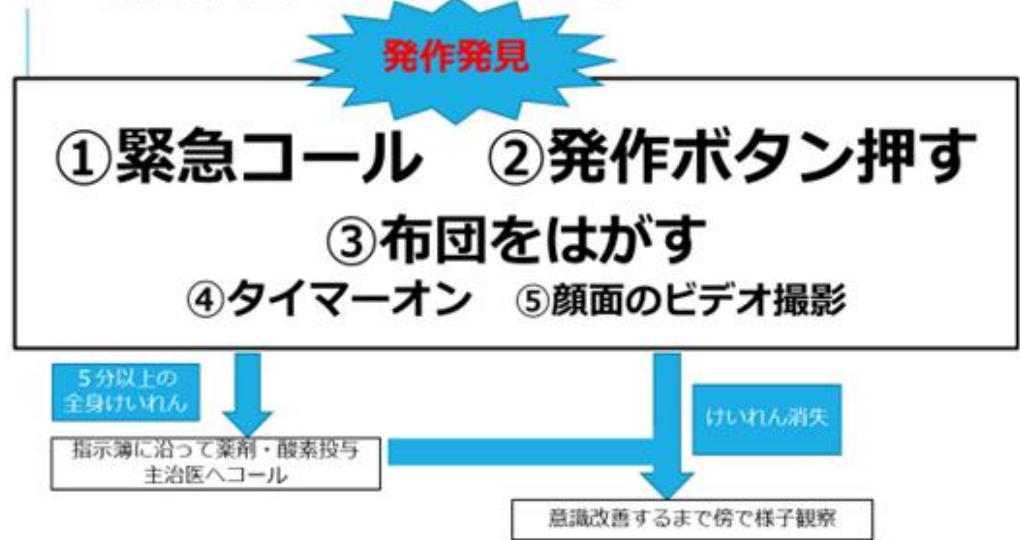
- ✓ 火曜日の夕方～金曜日に実施(3泊4日)
- ✓ 一般病床(4人部屋)の2床を利用
- ✓ 夜間帯は家族に付き添いを要請
- ✓ 電極設置は検査技師が平日のみ対応 (電極除去は医師が実施)



脳波検査中のてんかん発作に対してフローチャートを作成した取り組み

沖縄赤十字病院 ○與那覇美乃里 新垣尚通 西野あき 富名腰果歩 比嘉千里 鈴木要介

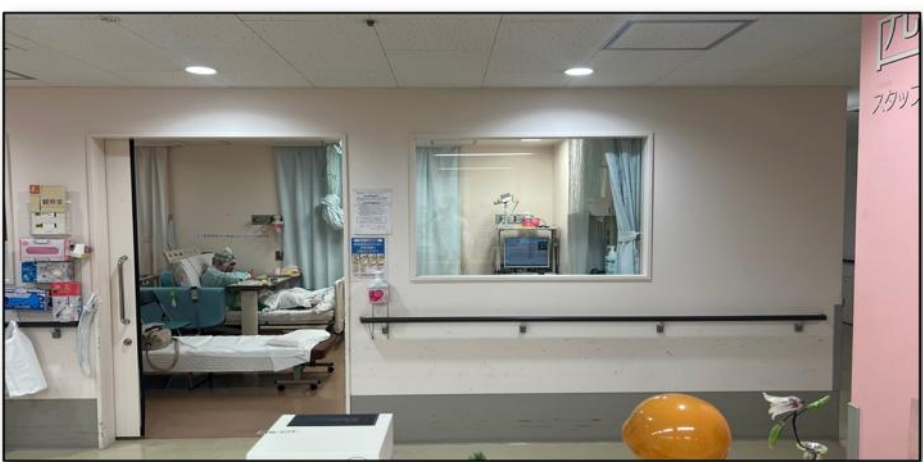
ビデオ脳波検査での発作時の対応



ビデオ脳波検査中の注意！

- 移動は車いす使用する。トイレは必ず付き添う
- ビデオの映る範囲に入り込まない
- 発作中は触らない。嘔吐があった場合は口に手を入れず、窒息しないように顔を横に向ける
- メガネなど外傷の要因となりそうなものは外す
- コードに触らない

ナースステーション前の観察室
2床を1部屋にしています



第11回全国てんかんセンター協議会総会徳島大会にて 当院の與那嶺美乃里さんが優秀ポスター賞を受賞しました。

2024年3月2、3日に第11回全国てんかんセンター協議会総会が徳島で行われました。当院からは4西病棟の與那嶺美乃里さん、富名腰果歩さんが出席し、「ビデオ脳波検査中のてんかん発作に対しフローチャートを作成した取り組み」という演題で発表され、見事、優秀ポスター賞を授与されました。

日本のてんかん医療は、精神科、脳神経内科、脳神経外科、小児科など数多くの診療科により担われてきたため、多くの地域で、どの医療機関がてんかんの専門的な診療をしているのか把握できない状況が生じていました。この状況を打破すべく、国の事業として「てんかん地域診療連携体制整備事業」が始まり、当院は2018年に沖縄県の「てんかん支援拠点病院」に指定されました。2023年時点では29都道府県で「てんかん支援拠点病院」が指定されています。内訳は大学病院19、国立病院6、県立病院2、民間病院1、赤十字病院1(当院)となっており、当院は「てんかん支援拠点病院」の中では最小の規模です。大学病院などが豊富な人材・資源を用いて先進的なことを競っているのに対し、人材・資源共に限られた当院が創意・工夫により成果を挙げていることが高く評価されました。医師ですら理解しているものが少ない「てんかん」をもつ患者と日々向き合い、勉強してきた4西病棟の看護師に改めて敬意を表します。



脳神経外科 部長 廣中 浩平



【写真提供:武田 弥生/犬(名前):そら】

ひとし

赤十字の博愛の心が
伝わる病院をめざして

基本方針

1. 患者さんに最善の
ことのために医療技術を
提供します。
2. 医療は信頼される医療が
行えるように日々研鑽し、
快適な医療環境を創ります。
3. 医療は地域と連携を密にし、
患者の健康増進に貢献できる
医療体制を構築します。

〒902-8588
沖縄県那覇市与儀1-3-1
TEL 098-853-3134
FAX 098-853-7811
<http://www.okinawa-redcross.or.jp/>



沖縄赤十字病院

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

人間を救うのは、人間だ。
Our world. Your move.

当院の課題

1) 医療資源が乏しい

vEEGは週1件 (病棟・技師との協議の結果)
核医学検査はできない
脳磁図(MEG)は沖縄県にない
ナビゲーションはない



年間50件は困難
PET, SPECTは県内の他施設に外注
NCNPに依頼
非定型的な焦点切除は困難



一部の患者は、県外の施設に紹介
県外での治療が困難な患者は、当院で可能な術式を選択せざるを得ない

2) 後進がない

結語

✓ これまでの、沖縄赤十字病院のてんかん拠点事業は

- ・県内のてんかん患者に最適な治療を提示する

- ・県内でてんかん治療を完結する

を目指した饒波正博医師と太組一朗医師の個々の尽力の賜物である

✓ てんかん拠点事業の継続には、個人に依存しない体制作りが必要である



日本赤十字社

沖縄赤十字病院